

令和8年4月入学予定者向け(A)
および全学年向け追加募集(B)
奈良女子大学次世代研究者育成プログラムSGC-NEXUS
募集要項

奈良女子大学 大学院人間文化総合科学研究科
奈良女子大学次世代研究者育成プログラムSGC-NEXUS運営委員会

1. 募集概要

本プログラムの基となる「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」の制度見直しに伴い、留学生の方は令和9年度から新制度が適用され支援内容が変わりますので注意してください。詳細は「6. 支給額と内訳」を参照願います。

本学は、「SGC」「SGC+」に引き続き、令和6年度から科学技術振興機構(JST)の「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」の実施機関として採択され、「SGC-NEXUS」を創設しました。この制度は、優秀な女子学生が経済的負担や学位取得後のキャリアパスに過大な不安を抱えることなく、博士後期課程へ進学し研究できる体制を構築することを目的としています。この事業では、3年間の標準修業年限内(長期履修学生の場合、申請履修年限内)に博士の学位を取得し、学位取得後のキャリアへのスムーズな移行が可能となるよう、海外派遣や企業等におけるインターンシップ等を取り入れつつ、研究力の向上やキャリアパスの確保へ向けた支援策が計画されています。申請者も、主・副指導教員の方々と十分相談の上、上記の目標が達成可能となるよう、入念な研究計画を立て、自己研鑽に励んでいただくことが求められます。また、指導教員の方々には、上記修業年限内での学位取得に向けた支援体制について、一層のご尽力をお願いします。

本学は、教育研究の理念「男女共同参画社会をリードする女性人材養成」に基づき、専門性の深化とともに総合知の涵養を通して、高度な主体的判断力・行動力・課題発見力を身につけ、答えのない問題に挑戦していくことのできる女性人材を育成します。その延長線上には、社会の指導的地位につく女性として、“ガラスの天井”を打ち破き(Shattering the Glass Ceiling=SGC)、人々とつながる(NEXUS)姿が期待されています。

以上の趣旨に則り、SGC-NEXUSプログラム生の募集を以下のとおり行います。

2. 申請書受付期間 令和8年3月4日(水)～ 3月11日(水)12:00 締切

3. 募集人数

(A) 新規募集分:2名

令和8年4月本学博士後期課程入学予定者

令和8年4月から令和11年3月までの支援【最長】

(B) 欠員補充分:2名

本学博士後期課程に令和8年4月以降在学する予定者

令和8年4月から令和9年3月までの支援【最長】

ただし、支援期間は最長で標準修業年限までになります。

※標準修業年限とは、入学から3年を指します。標準修業年限内に休学がある場合は、休学期間はその3年に含みませんが、休学期間は通算2年を上限とします。

令和8年10月(秋季)向けの追加募集は、後日行う予定です。

4. 申請・受給資格

申請資格を有する者は、以下の通りです。(A) (B) のいずれかの応募となります。

- (A) 令和8年4月本学博士後期課程入学予定者で、申請について主任指導教員(予定を含む)の確認を受けている者
- (B) 本学博士後期課程に令和8年4月以降在学する者で、申請について主任指導教員(予定を含む)の確認を受けている者(支援期間は、最長で標準修業年限まで)

対象となる者の例(注1):

- ・経常的な収入を得る仕事に就いていない者で、標準修業年限内での学位取得が可能な学生(社会人経験者を含む)
- ・安定的・固定的な収入が年額240万円未満の社会人(注2)(注3)
- ・長期履修学生(ただし支援はD3の終わりまで)
- ・本国から奨学金等の支援を受けていない私費留学生

対象とならない者の例(注1):

- ・支援を受ける期間に休学中である者
- ・3年を超えて博士後期課程に在学している者
- ・生活費に係る十分な水準(240万円/年以上)の奨学金を得ている者(注3)
- ・大学や企業等から生活費相当額として十分な水準(240万円/年以上)で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者(注3)
- ・国費留学生および本国から奨学金等の支援を受けている留学生
- ・独立行政法人日本学術振興会特別研究員

なお、受給期間中に、上記「対象とならない者の例」のいずれかに該当することとなった場合は、受給資格を失うものとします。

(注1) 詳細については必要に応じてお問い合わせください。

(注2) 社会人とは、経常的な収入を得る仕事に就いている者、および主婦を指します。

(注3) 240万円は、所得税、社会保険料、時間外労働及び賞与等を含んだ額面の金額

※授業料免除との重複は認められます。研究活動に差し障りのない範囲でのアルバイト(含、TA)も認められています。アルバイト収入は、安定的・固定的な収入には該当しません。

※採択された場合は独立行政法人日本学生支援機構の特に優れた業績による奨学金の返還免除対象から外れることになります。

5. SGC-NEXUS支給対象学生の義務

1) 現況報告書の提出

研究活動の取組状況を半期毎に報告し評価を受けること

2) SGC-NEXUSと関連する授業の履修

博士後期課程2回生終了時まで、博士後期課程大学院共通科目の「自己分析・ワークスタイルセミナーA・B」「キャリアセミナーA・B」「データ分析のためのプログラミング基礎」「統計解析の基礎」(各1単位)の中から1単位以上を履修すること

3) メンターチームとの面談

半期毎にメンターチームとの面談に臨むこと

4) 研究成果発表

受給終了時まで、公開での研究成果発表を実施すること

5) SGC-NEXUSの企画への参画

インターンシップ、海外派遣、研究交流会など本事業が実施する企画に積極的に参画すること

6) 進路調査に対する回答

支援終了後10年間は進路追跡調査に回答すること

なお、義務の履行状況については、奈良女子大学博士学生支援SGC-NEXUS運営委員会で確認し、義務の履行状況に問題があると判断された場合には、支援金受給資格を喪失したものと扱います。

6. 支給額と内訳

本募集申請が採択された場合、4月から研究奨励費として20万円/月を、原則として標準取得年限内での博士の学位取得時まで支給します。したがってSGC-NEXUS採択時以降、最長3年間が支給対象期間（長期履修生の場合も最長3年間）となります。留学生は、来日してからの支援になります。

また、年間18万円の研究費を支給します（必要に応じて10万円まで増額を認めます。ただし採択時期に応じた月割りの減額有）。研究費の会計処理上、年度毎に研究費の未使用額が発生した場合には、その未使用額を返却していただくことになります。*国の予算の状況により変更があり得ます。

※なお、次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」の制度見直しに伴い、今回採用となる留学生については令和9年度から新制度が適用されることになり、支援内容が「研究奨励費と研究費の支給」（令和8年度）から、「研究費のみの支給」（令和9年度以降）へと変更されますのでご注意ください。

7. 申請書類

申請書（履歴、研究活動実績、研究計画等を含む；様式1）と活動計画書（様式2）を提出してください。申請書類の様式は10. から取り寄せてください。

8. 選考方法

申請者に申請書（様式1）・活動計画書（様式2）の提出を求め、面接（申請者による口頭発表と質疑応答を含む）を実施し、これらを総合して選考を行います。なお面接を行う場合、令和8年3月18日（水）～3月31日（火）に実施予定です。面接までの期間が短いので、申請者はあらかじめ面接の準備をお願いいたします。また審査結果は、電子メールにより申請者に直接連絡します。

9. 申請書・活動計画書等の提出方法および提出先

申請書（様式1）及び活動計画書（様式2）をPDFファイル形式で保存し、下記の提出用URLにアップロードしてください。また、アップロード完了後にその旨を下記の連絡先へメールしてください。

（注意事項）

- ・申請書（様式1）のファイル名は「〇〇〇〇-202603SGC-NEXUS申請書」（〇〇〇〇は申請者氏名）としてください。
- ・活動計画書（様式2）のファイル名は「〇〇〇〇-202603SGC-NEXUS活動計画書」（〇〇〇〇は申請者氏名）としてください。
- ・送信メールの件名は「〇〇〇〇-202603SGC-NEXUS申請」としてください。

●申請書及び活動計画書のアップロード先

https://webshare.cc.nara-wu.ac.jp/public/X3pgQf6IxdDeDwgJzJ_x6Jco8CEQ8ivFQIUPgBiXNgiC

●送信先Emailアドレス（SGC-NEXUSプログラム）

nwu-sgc@cc.nara-wu.ac.jp

- ・申請書等を受領したら、受領した旨の返信メールをお送りします。
- ・3月13日（金）17:00 までに上記の返信メールが届かない場合、「10. 問い合わせ先」に確認してください。

10. 問い合わせ先

〒630-8506 奈良市北魚屋西町
奈良女子大学 SGC-NEXUS運営チーム

TEL 0742-20-3503

Email nwu-sgc@cc.nara-wu.ac.jp

URL https://cdpd.nara-wu.ac.jp/sgc-nexus_202603_requirements